

News Release

2021 年 10 月 26 日

報道関係 各位

三井物産都市開発株式会社

飯野海運株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

三井物産都市開発、飯野海運、コカ・コーラ ボトラーズジャパン、 「日比谷フォートタワー」において PET ボトルリサイクルの 啓発・分別の推進を開始

PET ボトル自動回収機を活用し、SDGs 達成に貢献

三井物産都市開発株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：土原 伸、以下 三井物産都市開発）、飯野海運株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：當舎 裕己、以下 飯野海運）、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：カリン・ドラガン、以下 コカ・コーラ ボトラーズジャパン）は、「日比谷フォートタワー」（東京都港区）における PET ボトルリサイクルの啓発・分別を推進する取り組みを開始し、その一環として、本日 10 月 26 日に、「日比谷フォートタワー」内に PET ボトル自動回収機を設置し、運用を開始いたしました。

「日比谷フォートタワー」は、本年 6 月 30 日にオフィスビル部分が開業し、ビル全体で SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）達成に貢献することを目指しています（注 1）。SDGs 推進の一環として、このたび、ビルオーナーである三井物産都市開発、飯野海運と、ビル内の飲料自動販売機の設置・管理を請け負うコカ・コーラ ボトラーズジャパンが共同で、同ビル 11 階の SKY LOUNGE に、PET ボトル自動回収機を設置しました。11 階の SKY LOUNGE は、テナント企業の来客受付や休憩スペース、コンビニエンスストアなどがある共有空間となっているため、PET ボトル自動回収機はテナント企業に加え、外部からの来館者も利用可能です。使用済み PET ボトルを新たな PET ボトルに再生する、水平リサイクル（※）「ボトル to ボトル」の実現のための最初のアクションとして消費者に求められる、“汚れの少ない PET ボトルの回収”と、“ボトル、キャップ・ラベルの分別”の啓発に焦点を当てた以下の取り組みを推進することで、循環型社会実現への貢献を目指します。

（※）使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること。

■PET ボトル自動回収機を 11 階 SKY LOUNGE に設置



日比谷フォートタワー 11 階の SKY LOUNGE に設置された PET ボトル自動回収機

PET ボトル自動回収機を活用した、汚れの少ない使用済み PET ボトルの回収

PET ボトル自動回収機は、残液がある PET ボトルや PET ボトル以外の容器を入れようとするとエラー表示になり、回収ができない仕組みを導入しています。また、PET ボトル自動回収機に投入した容器は、内部で自動的に圧縮されることで、体積が大幅に減少されるので、リサイクル工場への輸送における積載率向上にもつながります。

PET ボトル自動回収機の利用促進策として、ウェルネス活動につながるポイントを利用者に付与

PET ボトル自動回収機の利用を促進する取り組みとして、「ウェルちょ（ウェルネス貯金）」（注 2）のポイント「エール」を利用者に PET ボトル 1 本に対して、1 エール（＝1 円相当）を付与します。貯まった「エール」はビル内のさくらだ歯科医院やサラダイス（サラダ専門店）などで利用でき、PET ボトルのリサイクル率向上だけでなく、利用者のウェルネス活動に貢献することを期待しています。

■PET ボトルリサイクルの啓発・分別を推進するための取り組み(11 階 SKY LOUNGE 以外)

テナント共有部の自動販売機横に、分別を訴求したリサイクルボックスを設置



「日比谷フットタワー」のテナント共有部にある自動販売機横に、訴求性と視認性が高い PET ボトルリサイクルボックスを導入しました。ビル内に導入した回収ボックスは、PET ボトル本体、ラベル、キャップを分別する回収口が設けられ、背面には分別を訴求するメッセージボードが取り付けられています。また、異物混入を低減させるため、リサイクルボックスの外側は、中身が可視化できる半透明の素材となっています。この回収ボックス設置により、利用者が分別の重要性を認識し、リサイクルへの意識を高めていただくことを期待しています。

■ 3 社(三井物産都市開発、飯野海運およびコカ・コーラ ボトラーズジャパン)が目指すところ

三井物産都市開発、飯野海運は「日比谷フットタワー」開業にあたり、オフィスビルとして SDGs 達成に貢献するためには、ビルオーナーだけでなく、テナント企業や来館者が一緒になって持続可能な取り組みを実行することが必要と考え、多くの方にとって身近ですぐに実行できる循環型社会形成への貢献材料を模索しておりました。一方、コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、コカ・コーラシステムが目指す「容器の 2030 年ビジョン」(注 3)において、2030 年までに販売した自社製品と同等量の PET ボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいました。このような背景から、三井物産都市開発、飯野海運が有するオフィスビルという資産と、コカ・コーラ ボトラーズジャパンが有する使用済み PET ボトルの回収に関する知見を連携し、有効活用が期待できることから、本取り組みを 3 社共同で開始いたしました。

三井物産都市開発、飯野海運、コカ・コーラ ボトラーズジャパンは本取り組みを進めることで、使用済み PET ボトルのリサイクルに貢献してまいります。

(注 1)

コカ・コーラ ボトラーズジャパンとの取り組みのほかに、浜田化学株式会社と連携の上、飲食店、コンビニエンスストアなど、日比谷フットタワー内のテナント・店舗から排出される廃食油を薬用石鹼の原料としてリサイクルしたハンドソープをビル内の一部のトイレに導入する取り組みを実施しています。

http://www.hamadakagaku.co.jp/news_det.php?sn=79

(注 2) 「ウェルネス貯金」について (<https://wellcho.com/service>)

「ウェルちょ」とはウェルネス貯金を短縮したサービス名で、「ウェルネス応援隊」が提供する自社の商品やサービスに「エール」というポイントを付加し、対象商品を購入した消費者が専用アプリを通じて「エール」を獲得できるというプログラムです。消費者は獲得した「エール」を、ウェルネスの維持・向上に役立つ商品やサービスを提供する「ウェルネスステーション」で利用できます。

(注 3) コカ・コーラシステムの「容器の 2030 年ビジョン

(<https://www.ccbji.co.jp/csv/environment/?id=tab3>)

2025 年までにすべての PET ボトル製品へのリサイクル PET 樹脂などのサステナブル素材の使用、2030 年までに販売した自社製品と同等量の PET ボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。

■ 日比谷フットタワー概要

所在地：東京都港区西新橋一丁目 1 番 1 号

敷地面積：7,688.50 平方メートル

延床面積：105,609.21 平方メートル

竣工：2021 年 6 月 30 日

階数：地下 2 階・地上 27 階

アクセス：都営三田線「内幸町」駅 徒歩 2 分、東京メトロ日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 徒歩 2 分、

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 徒歩 3 分、東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」駅 徒歩 5 分、JR 線・東京メトロ銀座線・都営浅草線・新交通ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩 7 分

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

三井物産都市開発株式会社
TEL: 03-3503-1221、Email: GpBuilding1TKZRD@dg.mitsui.com

飯野海運株式会社 SR 広報部
TEL: 03-6273-3069
問い合わせフォーム:<https://www.iino.co.jp/kaiun/contact/form.php>

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 広報部メディアリレーション課
TEL: 03-6896-1707、Email: pr@ccbji.co.jp